

救急安心センター講演会の開催

救急企画室

はじめに

近年、救急自動車による救急出動件数が大幅に増加していますが、その要因のひとつとして、「救急車を要請すべきか、医療機関に行くべきか、どの医療機関を受診したらよいかわからない」といった判断に迷うケースがあります。

消防庁においては、そのような判断に迷うケースの相談窓口として、救急安心センターの設置を推進しています。

救急安心センターは、共通の短縮ダイヤル「#7119」を使用した、24時間365日体制の医師や看護師による医学的に質が高い救急相談窓口です。受診可能な医療機関の情報提供や応急手当方法の指導に加え、救急要請をするべきかどうかの判断もアドバイスをを行います。

現在、このサービスは、東京都、大阪府、奈良県で行われていますが、消防庁では、今後、全国の自治体で実施されるよう取組支援を行っているところです。

そこで、救急安心センター事業の成果、課題等について、消防関係者、自治体、地域住民等における情報共有を図り、また、新規に導入予定の団体に必要な情報を提供することを目的として、平成23年11月27日（日）、札幌市において「救急安心センター講演会」を開催しました。

講演会の内容

開会にあたって、札幌市の渡部正行副市長から、3カ年計画ですすめられている「救急安心センター札幌（仮称）」の設立を見据えての御挨拶をいただいた後、一般市民の方々に救急安心センター事業を知っていただくため、大阪市消防局作成のPRビデオを放映しました。

講演では、横浜市立大学医学部救急医学教授の森村尚登先生を迎え、「救急医療体制における緊急度判定と電

出演者一覧

森村 尚登・横浜市立大学大学院救急医学研究科救急医学 主任教授（講演者、コーディネーター）
 松元 照仁・自治大学校 部長教授（事例紹介者）
 山田 智子・NPO法人「子育て応援かざぐるま」代表（パネリスト）
 飯田 晃・札幌市保健福祉局 医療政策 担当部長（パネリスト）
 荒井 伸幸・東京消防庁救急部長（パネリスト）
 志手 隆之・大阪市消防局救急担当部長（パネリスト）
 海老原 諭・消防庁救急企画室長（パネリスト）

話救急相談の役割」というテーマで、救急電話相談の重要性、今後の課題等についてご講演いただきました。

また、パネルディスカッションでは、コーディネーターとして森村先生、パネリストとして、NPO法人「子育て応援かざぐるま」代表理事山田智子氏、札幌市福祉保健局医療政策担当部長飯田晃氏、東京消防庁救急部長荒井伸幸氏、大阪市消防局救急担当部長志手隆之氏を迎え、海老原諭救急企画室長を含めた5名でのディスカッションを行いました。

既に事業を開始している東京消防庁と大阪市消防局、実施に向け準備を進めている札幌市、子育ての担い手である市民の観点から山田氏と、それぞれの視点から救急安心センターを評価し、今後、より良いものとするためにどのように事業展開していくべきかを検討する非常に有意義なディスカッションとなりました。

おわりに

本講演会は、全国の消防関係者、医師、衛生部局関係者の他に一般市民の方にも多数ご参加いただき、参加総数約270名の盛況な講演会となりました。

消防庁では、今後も救急安心センターを全国の方々に知っていただき、多くの自治体への導入を推進するとともに、その取組支援を行っていきます。

なお、本講演会の詳細につきましては、消防庁HPに掲載されていますので、ご覧ください。



パネルディスカッション



渡部札幌市副市長の挨拶